

Fitness Industry Association


 Fitness
Industry
Association
of Japan

NEWS

 編集:(株)クラブビジネスジャパン
TEL.03-5459-2841
FAX.03-3770-8744
E-mail:info@fitnessclub.jp
http://www.fitnessclub.jp

 発行:(一社)日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail:info@fia.or.jp
http://www.fia.or.jp

Topics

トピックス

Withコロナ、afterコロナにおける
ヘルスケアビジネスの方向性

■シンポジスト:

経済産業省・ヘルスケア産業課長 稲邑拓馬氏

三井不動産株式会社 執行役員 加藤智康氏

株式会社カーブスジャパン 代表取締役会長

増本 岳氏

株式会社アシックス 取締役 松下直樹氏

慶応大学 教授 駒村康平氏

 コーディネーター:東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会副会長 河野一郎氏

7月17日(金)、Smart Wellness Community協議会が「ヘルス&ICTリテラシー向上プロジェクト」として「Withコロナ、Afterコロナにおける健幸都市の方向性—目指すべき新しい生活様式の価値観とそれを支えるビジネスの役割を考える—」をテーマにZoomウェビナーを開催した。

◆慶応大学 教授 駒村康平氏

最初に登壇した駒村氏は、今回の新型コロナウイルス禍(以下、新コ禍)についてまず「100年に一度の大きな事件。新型コロナウイルス感染が広がる前の状況に戻れるとは考えないほうがいいでしょう」と述べ、日本が抱える健康問題の改善を含め、これからは新しい社会づくりに力を注ぐ必要性を語った。

「1人あたりにかかる医療費と寿命の相関図を見ると、アメリカなどでは医療費を使っている割に寿命が延びていません。おそらく健康的な生活習慣など、そのほかの要因が大きく影響しているのではないかと思います。また職業別の死亡率を調査したある研究結果によると、一般的に先進国では肉体労働者の死亡率が高く、事務・管理専門職は低い傾向にあるのですが、日本の場合は管理職や専門職の死亡率が高く、ここへの対応が必要だと思えます。さらにこれからテレワークが普及することにより家族と過ごす時間や地域での生活時間が長くなりますので、地域における仲間づくりやスポーツサークルの立ち上げなども検討すべきでしょう。地域再生の基盤としても、スポーツ、健康づくりの場をもっとつくるのが重要になると思えます」

さらに駒村氏は、接触型、非接触型のビジネスについて取り上げた。接触型というのは、いわゆる新コ禍前の人と人が対面してのサービス提供を指す。例えば大学ではオンラインで授業を行うかわら、より詳しい指導については少人数でのオフライン授業で補うなどの取り組みが始まっている。同様に、同氏は今後のビジネスにおいては「接触型・非接触型、双方をどのように組み合わせていくかがキーとなるだろう」と述べていた。



2部構成のうち、ここでは「Withコロナ、afterコロナにおけるヘルスケアビジネスの方向性」の模様を紹介したい。

Zoomウェビナーはプロジェクトリーダーである筑波大学教授 久野譜也氏の挨拶で始まり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長である河野一郎氏をコーディネーターに、5名のシンポジストがそれぞれの専門分野からの視点で講演を行うかたちで行われた。次より、各者の抄録を紹介したい。

◆三井不動産株式会社 執行役員 加藤智康氏

新コ禍により、オフィスに出勤することが当然であった日本企業も、次々とテレワークに切り替え、現在ではオフィスを整理する企業すら出てきている。新たな感染症が発生する可能性もないとは言いきれないことや、近年、自然災害が増加していることも考えれば、もはや働き方の多様化の流れが変わることはないだろう。加藤氏はその流れが加速するなか、次第に様々なメリット、デメリットが見えてきていると語った。

「働く側のメリットとしては、自分の時間が増えるなどQuality Of Life(以下、QOL)の向上や、企業側には社員の交通費やオフィス賃料などの経費削減、人材獲得の多様化が可能になるなどのメリットが挙げられます。一方で、コミュニケーション不足や運動不足、そもそも不十分なIT環境が足かせとなってしまうテレワークに移行できない企業も出てきています」

今後は、シェアオフィスを含めた新たなオフィススペースのニーズの増加や、都心から郊外へと人々の住宅ニーズも多様化することが予想されるため、ハードとソフトの改革が必要であること、さらには「これまでの『働き方改革』は、労働時間を減らすことが重視されてきましたが、これからはQOLの向上が重視されていくでしょう」と加藤氏は述べ、「働き方改革」にも変化が起こることを示唆した。これまでのような「まずは労働時間を減らす」という安易な目標から、それが実現できた先で、増えた余暇をいかに有意義に過ごすのか、人々の考えがソフトしつつあることは、新コ禍によってもたらされたよい変化の1つといえるかもしれない。

オンラインを介したサービスが広がるなか、今後はど

こに住んでいても様々な教育や医療などのサービスが受けられる環境づくりが課題となっていく。ビジネスにおいては、地方活性化にもつながるこの動きを後押しする取り組みが求められそうだ。

◆株式会社アシックス 取締役 松下直樹氏

ランニングシューズを含めた各種スポーツ用品などの製造・販売を手がける株式会社アシックス（以下、アシックス）。松下氏は「シューズの売り上げが特段増えたのかどうかはまだわからない」としながらも、新コ禍による自粛生活で、ランニングへの注目度が高まっていることを紹介した。よい運動になることはもちろん、1人でも気軽に始められ、外で走れば3密も回避できるとしてランニングに取り組む人が増えているようだ。同氏は「この自粛期間を通して運動無関心層が運動に関心をもち始めているのは確かであり、ビジネスチャンスであると考えている」と期待を語った。

今後については、顧客とのエンゲージメントを高めることで、新たな商品などさらなる提案へつなげられるような仕組みを構築しているところだと言い、その1つとして、バーチャルマラソン大会へのエントリーが可能となるシステム開発に取り組んでいることを紹介した。新コ禍により、マラソンイベントが次々と中止になるなかで国や地域に関わらず参加でき、ランニングが楽しめるバーチャルマラソン大会が世界各国で普及し始めているそうだ。そのほかアシックスでは、個々の体力をしっかりと診断し、結果に基づいて、よりよい身体づくりに向けたプログラム構築にも取り組んでいる。

を活かし、全国47都道府県の新聞の一面に、健康二次被害について啓発する広告を掲載したり、全国に80万人いる女性会員の方による口コミネットワークを活かし、健康二次被害や正しい感染予防知識の啓発など、ご高齢の方にもわかりやすく情報を伝えた。同社では、着けたまま運動をしても呼吸がスムーズにでき、低酸素症などを回避できるマスクもメーカーと共同開発。会員全員に無料配布した。これについてはセミナーで「一般販売はしないのか」という声もあがったが、現在ではまだそこまでの生産準備ができない状況だという。

カーブスジャパンではさらに新しい取り組みとして、自宅での運動サポートをより強化しようと、4月からオンラインでの体操教室をスタートしている。まだテスト段階のため限られた方にしか提供していないが、好評のため秋以降、本格稼働の予定だ。増本氏は現在、様々な企業より出されているオンラインフィットネスプログラムの多くが、「もともとスポーツ好きの方向けのものと感じる」と指摘し、同社では運動無関心層向けに、より取り組みやすいプログラムを考えているそうだ。

なお、主に1人で取り組むためモチベーションを高めることが難しいオンラインフィットネスの課題といえるのが「継続」だが、増本氏はその点においても、「交流やコミュニティを大切に、当社のプログラムでは運動後、皆でお茶を飲むなどのお茶会も組み合わせたいと考えています」と語り、今後も様々な施策を立てながら健康二次被害の防止に向け進んでいきたいと語った。

◆経済産業省・ヘルスケア産業課長 稲色拓馬氏

「仕事はオフィスでするもの、勉強は学校でするもの」という概念がなくなり、これまでの“当たり前”を改めて見直す機会が新コ禍でもたらされた」と語ったのは稲色

松下氏は「運動できる環境がある場所に住みたいという人がこれからは増えるはず」と、米国のように日本でも運動が人々の身近にある生活様式に変わっていくだろうことを予想していた。

◆株式会社カーブスジャパン

代表取締役会長 増本 岳氏

一般的なフィットネスクラブには日ごろから運動習慣をもつ方が多いなか、「これまでフィットネスクラブに通ったことがない」「運動が苦手」という方を惹き付けている「カーブス」。会員にはご高齢の方も多く、緊急事態宣言による店舗の休業は、健康二次被害につながるとして増本氏は大きな懸念を寄せている。

「緊急事態宣言後、運動不足による持病の悪化など、お客さまの健康状態が深刻化していると感じています。店舗が休業しても、行動が制限されても、健康意識の高い方は家で運動をされたり、人が少ない時間を狙って公園を歩くなどのことを続けられていますが、そうでない方は身体活動が滞りがちです。さらに、我々が『コロナ後遺症』と呼んで懸念しているのが、自粛が明けたことで『まだマスクしているの?』という過剰に活発になってしまう方がいることと、反対に過剰な自粛をしてしまう方がいることです」

増本氏は後者の一例として、“3密”を挙げた。もともとは密閉・密集・密接と、“3つの密が重なる”と感染リスクが高まるというものであったが、そのなかの1つでも極端に避けようと、社会活動を制限してしまう人々がいるのだ。そこで、「カーブス」ではこれまで培った強み

氏。テレワークにおいては、加藤氏も述べたようなメリット・デメリットがあるなかで、同氏は対面の価値が改めて見直されていると述べた。

「例えば仲間に仕事をお願いしたい場合、同じ空間にいれば、相手が忙しいのかどうか状況を読んだり、説明した際も顔色で理解度を図ることができましたが、テレワークではそこまではわかりません。結果、仕事を頼んだが期日までに仕上がらなかった、などという経験をしている方は多いのではないのでしょうか。このような出来事を通して、対面の価値が改めて見直されてきています。しかし、だから『テレワークは難しい』ということではなく、より工夫する必要があると思います」

テレワークの課題が浮かび上がり、同時に対面の価値が改めて見直されても、かつての状態に戻ることはまずないだろう。デメリットがありつつも、駒村氏も述べていたように、接触型・非接触型、双方のよい点をうまく活かしていこうという意識を利用者側はもつ必要がありそうだ。「医療・健康の分野についていえば、これまでの“当たり前”は病院へ行ってサービスを受けることでしたが、今は病院に行くこと自体が躊躇されるようになり、オンラインでの健康相談も増えてきています。政府としてもこの流れを汲みながら、先ほど触れたテレワークと同様に『対面のやりとりの強み』と、『オンラインの利便性』などをそれぞれ評価しながら、変化に対応していくことが重要です。さらに新コ禍は、自分で取り組める健康づくりなどの重要性や、ヘルスケア産業の役割を改めて見直す機会ももたらしています」

同省では、ヘルスケア産業を健全に育てていくために企業にサービス品質を担保するためのガイドライン策定を促したり、これまでも取り組んできている健康経営への関心をさらに高められるよう、引き続き普及活動を進めていく。

Information

お知らせ

1. 遠藤利明衆議院議員への陳情に関するご報告



フィットネス業界は6月営業再開後三ヶ月を経過したが、会員の戻りはやはり厳しい状況にある。

春の需要期に営業休止となり会員数も各社減少している中、秋の需要期には何としても休会の会員に戻ってきて頂き、新たに健康づくりに取り組む新規顧客獲得を実現する必要がある。

先日、FIA会長吉田正昭が元国務大臣でオリンピック、パラリンピック副会長(会長代行)遠藤利明議員を訪問する機会を得た。

フィットネス産業が、国と地域の健康づくりのインフラとして重要な役割を担うまでに高度化しており、ポストコロナ時代の生活者の健康を支える重要な役割をさらに担っていくと。その一方で経営的な厳しい現実。更には現在、FIA

FIA加盟の正会員、賛助会員企業の提供するハードやソフトの信頼性を、国や自治体のコロナ感染抑止と新しい生活様式の創造に向けた取り組みの中で高めていきたい。



2. FIA全国スポーツクラブ駅伝東京大会中止

本年の同大会(東京会場)は新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、中止といたしました。

3. フィットネスクラブ運営の「ガイドライン」について

現在適用中のガイドライン(5月25日版)では運動時を含めてマスク等の着用をお願いしており、クラブ・顧客の皆さんから様々なご意見を頂いていますが、一方7-8月に全国で30件に近い「感染者のクラブ来場」が把握されるにあってもクラブが感染拡大の場となっていないということが極めて重要なことです。

FIAではクラブ代表の皆さんのご意見もいただきながら、ガイドライン改定版の制定を進め、行政との調整に入っていますが、ハードルは依然高く、マスク・仕切り・人数制限など、一気に緩和に向かうという感触ではありません。クラブで感染拡大は起こらないという事実を今しばらく積み上げてゆくことが大切です。

加盟企業を中心に全国のフィットネス関連施設が感染対策にしっかり取り組んでいる事等を報告した。

遠藤利明議員には、大きく理解を示していただき、今の現実を確実に国に伝えたいという具体的な何が出来るか、新たな取り組みを一緒に考えよう！という意思を共に、その実走のための新たな枠組みを検討するというコメントも頂いた。

その日は(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会企画財務局の方が同席されており、FIAとの面会后、厚労省、経産省、スポーツ庁の幹部も遠藤議員を訪問されるとの事で、国としてスポーツ、フィットネス産業の早期回復に向けた取り組みに関する必要性を伝えていただけるとのコメントも頂いた。

フィットネス業界の秋の需要期に向けて休会者の回帰、そして新規顧客獲得に対する取組についても、国から何らかの力を借りる可能性に近づけたと考える。

今回の遠藤議員への陳情にあたっては、東京大学理事で、スポーツ基本法制定やBリーグの創設等、多くのスポーツ団体のガバナンス強化や、広くスポーツ関連の改革に尽力されている境田正樹弁護士に多大なお力添えを賜っている。

境田氏には、今後の取り組みに於いても引き続きお力添えを頂ける事となっている。

今後、FIAはフィットネス産業の復興に必要な取り組みに対し、その機能の集約と最大化を図っていく。

しかし、そのためにはコロナ禍における感染抑制に対する取り組みに対しては、あらゆる産業をリードして引き続き模範となる姿勢を強く示していく必要があると共に、そうした実績の積み重ねがFIA加盟クラブは安全で安心して通えるクラブであるという世の中の認識に繋がっていく。

4. フェイスシールド・マウスシールドの説明

5月25日版「フィットネス関連施設における対応ガイドライン」(GL)には施設内でのマスク・ネックゲイター等の着用を求めています。

GLのマスク・ネックゲイターの主目的は、飛沫拡散防止、飛散防止であり、その為にマスク・ネックゲイターが有効であることから、施設内での使用を条件としています。

内閣官房・国によって公認された内容であるGLは逆に業界団体の意向のみでは変更できない性格のものになっています。

一方、フェイスシールド・マウスシールド(FS・MS)については記述されていません。

夏場を迎え、熱中症防止との関係、及び、マスクは苦しいとの意見もあり、マスク品薄を経て流通量が増えたFS・MSの使用が注目されました。

GLにはマスク・ネックゲイター「等」とされており、FS・MSが「等」に当たるかどうかについては、肯定否定両面からご意見の多い処です。

こうした中、6月18日にFIAでは見解として「GLに記述がない=FS・MSを否定はしていない(出来ない)」と表明しており、使用を可と判断するクラブや顧客が出ています。

FIAは7月29日「室内運動施設におけるマスクによる熱中症予防について」を公開し、施設内では運動中も含めて鼻と口を覆うことを求めました。ここでは息苦しさや脈拍の増加を感じたらマスクを鼻までずらして回復を図ることなどを呼びかけていますが、FS・MSについては可も不可も言及できていません。

8月現在、GLは改定版の準備に入り、行政との折衝も始まっていますが、感染の全国的広がりもあり、全般に制限緩和に向かう雰囲気ではありません。なお、改定案では体質や疾病のためマスク類が使用しにくい場合の対応として

FS・MSIに言及していますが、くしゃみに備え即時に覆えるタオル準備の条件もあるなど、飛散防止ツールとして常用を認める方向にはなっていません。

7月以降各地において「ご本人も感染を認識しない人のクラブ利用」報告が二十数件ありますが、幸いなことにクラブ内での感染拡大は1~2例を除き発生していません。各地保健所も「業界GLを遵守していれば、濃厚接触者発生と見ず、自粛要請等には直結しない」姿勢であり、それこそが、事業者・顧客双方にとって重要なことです。

GLは法律でも規則でもなく「協力のお願ひ」ですが、だからこそ今しばらくの間、クラブ会員も含めた関係者の辛抱とご協力をお願いするものです。

4. FIA会員企業コロナ対応グッズの取り扱い

FIA賛助会員はフィットネスクラブ運営のクラブの運営をサポートする様々な商材を取り扱っています。会員各社が扱うコロナ関連対策グッズをご紹介します。

本欄でご紹介できる商品がありましたら、事務局あてにご連絡ください。

詳細は以下URLにアクセスしてご確認ください。

<https://www.fia.or.jp/public/oshirase/19798/>

■FIA会員企業コロナ対応グッズ取り扱い一覧

商品概要	会社名
水着素材マスク(運動時推奨) (6月15日受付中止・再開時ご案内予定)	ミズノ(株)
二酸化塩素消毒剤(清拭剤)	(有)アクアトリート
除菌クリーナー(清拭剤)	(有)ヒロテック
高濃度銀イオン水・検温消毒器	(株)アライアンス
新型コロナウイルスセルフ抗体検査	(株)アライアンス
除菌・消臭マルチオゾンボトル & スプレー	(株)アライアンス
ランナーマスク	(株)アライアンス
手指消毒 & 体温測定機	(株)アライアンス
サーモグラフィカメラ	(株)博栄開発
環境消毒洗剤	(株)アムテック
フェイスシールド	(株)ビックス
抗菌シート	(株)ビックス
クリアパーテーション	(株)ビックス
ペダル式消毒薬スタンド	(株)K&Kクリエイションズ

商品概要	会社名
紫外線殺菌照射装置	(株)K&Kクリエイションズ
除菌消臭液(クリンデオ)	(株)ハヤブサ技研
感染予防に洗えるインカムマイク	(株)ヒカリスポーツ
フェイスシールド	(株)ドクターズ・マン
除菌ウェットシート	(株)フジモリ
アクリルパーテーション	(株)フジモリ
飛沫感染予防対策パーテーション	セノー(株)

Member's Board 会員掲示板

**SPORTEC × NEXT
オンラインセミナー 9月17日(木)開催!**

SPORTECおよび株式会社クラブビジネスジャパン 月刊NEXT編集部は、個人事業主のインストラクター・トレーナー、スポーツ指導者向け、「スポーツ事業継続支援補助金」活用セミナーを、9月17日(木)17:00~オンラインで開催します。

コロナ禍で加速した、指導環境のデジタル化が進められるチャンスです。補助金の申請期限が10月31日のため、ぜひこの機会を活用して申請準備をスタートしましょう。

【補助金活用例】

- ・オンライン指導への切り替え
- ・感染拡大予防に配慮した練習環境の充実

- ・スポーツ大会やイベントの開催
- ・オンライン指導や大会イベント開催の告知広告や動画の制作

スポーツ庁令和2年度第2次補正予算事業の「スポーツ事業継続支援補助金」の具体的な手順の解説もあります。定員300名ですが、お早めのお申込みをお勧め致します。

※セミナーは2部構成となります。第1部では、オンライン化により顧客とのつながりを回復し、収益の第二の柱を作る手法について、有限会社アクトスペース企画 代表取締役 尾崎 由美子氏および株式会社ジムフィールド 代表取締役CEO 郡勝比呂氏にお話しいただきます。第2部にて、「スポーツ事業継続支援補助金」の活用について、スポーツ庁(予定)の方を講師にお招きし、セミナーを開催致します。

詳細・お申込みは以下よりどうぞ↓

<https://www.facebook.com/events/1007204419703019/>

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定について

2020年度フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験 受検申請まもなく〆切！

受検申請期間:2020年8月1日(土)～9月22日(火)(受検料入金〆切も同時)

★試験日:2020年11月22日(日)

★3級 受検料(課税なし)

学科・実技同時:10,000円、学科のみ:5,000円、実技のみ:5,000円

受検申請方法:インターネットにて、FCM検定ホームページから

9月10日現在、学生を中心に昨年を上回る受検申請をいただいています。フィットネスクラブ・マネジメント技能の内容や重要性の認知が徐々に広がってきていると思われます。

●学生の本分は勉強です。将来のために、学習し、試験で合格点を取ることが大切です。

●従事者にとっては仕事が本分です。

仕事を実行し、成果を上げることが大切です。働きながら学ぶ価値は、仕事での成果に繋がるかで計られます。ただ、勉強して試験に合格しても仕事の成果に繋がらなければ価値を認められません。

では、学びが仕事に役立つには、何がポイントなのでしょう。

～ここで、皆さんにも身近な筋トレについて最近読んだ記事の一部を紹介します。～

読まれた方もいると思いますが、日経新聞で5回シリーズとなっているNEXTストーリー筋トレ2.0です。

このシリーズはビジネスヒューマンが筋トレを通じて仕事に好影響を及ぼしたことを語るものです。②に登場したのはライフネット生命保険の共同創業者でもある岩崎大輔氏が登場し、筋トレのあと「筋トレは心身を整えてくれる。リスクを取る意思決定に泰然と構えられるようになった」とコメントされています。また、記事には目標を持って計画的に筋トレに取り組み成果をだすことが、マネジメント力の証明になり、仕事に自信を深めると書かれています。

～もう一つ紹介したい記事があります。～

このフィットネスクラブ・マネジメント技能検定1級(合格率15%の難関 現在全国に47名)に合格された方の対談です。

(フィットネスビジネス109号)そこには、

FCMの学びで得た意識の変化として、

「過去の経験で凝り固まった行動パターンや考え方が一回リセットされた」「競合含めステイクホルダーから自店がどのようになっているのか、そのポジションはどこに位置しているのかを常に意識するようになった」と記載されています。

また、3級や2級レベルの方に対して、業務とリンクして学習することが、必ず仕事の役に立つので絶対取得した方が良い資格」とコメントされていました。

さらには、現在の新型コロナ禍中、合格者が組織の枠を超えて力を合わせて現状を打破するための行動を起こせないかとも語られていました。

このような声に応える1つの取り組みとして、FCM技能検定の合格者の団体である「FCM技能士会」では、この秋に、ZOOMを使って1級技能士の交流会を開催する計画です。

以下の6つのテーマについて、1級技能士が各グループに分かれて、意見交換を行い、さらに全体でその情報を共有する交流会となります。

テーマ:～ウィズコロナからポストコロナの時代への対応～

今まで(ビフォーコロナ)と現在(ウィズコロナ)、これから

(ポストコロナ)の変化

チーム①「フィットネスクラブの価値」

チーム②「WEBの活用法」

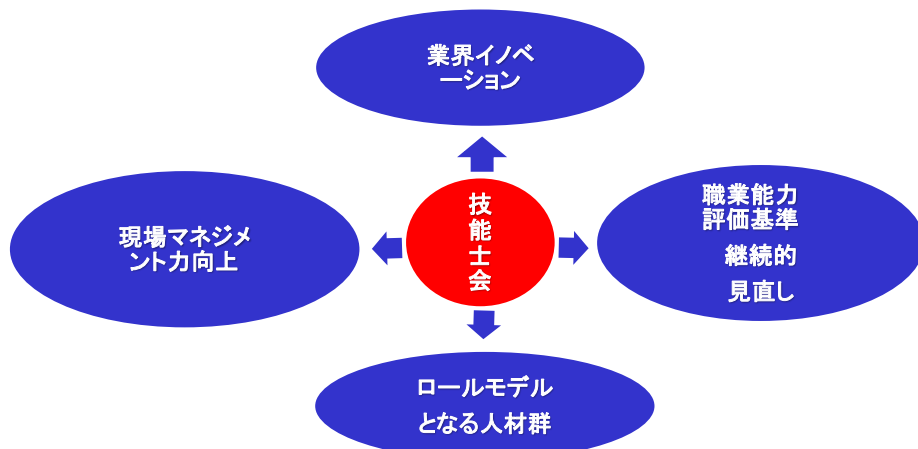
チーム③「求められる人材像」

チーム④「FCMのあり方」

チーム⑤「業界スタンダード」

チーム⑥「FIAに求められること」

資格取得がゴールでなく、さらなる学習、仕事カレレベルアップのスタートになる会社や組織を超えた交流をする場＝技能士会



New Face

新規加盟企業紹介

株式会社OFCヴィータ

VITA BASE(ヴィータベース)

(千葉県習志野市)



ご挨拶

1983年に創部したアメフトチーム「オービックスガールズ」は、2003年に習志野市にフランチャイズを移転し、17年間スポーツとアメリカンフットボールの普及に取り組んできました。人生100年時代。地元の皆様とふれあい、つながりあうためのスポーツの拠点という意味を込めて、2020年3月にスポーツクラブVITA BASEを開業させていただきました。

天井高5.5mの下、40ヤードを走り抜けることができる人工芝フィールドや、35席の規模で健康セミナーを開催できるCAFÉ、託児ルームの設置など、様々な年齢層がターゲットです。スポーツクラブを通じて、競技スポーツと生涯スポーツ、若年アスリート育成の新たな接点づくりに挑戦し、微力ながらフィットネス業界の発展に少しでも貢献できれば幸いです。

皆様、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひいたします。

(株式会社OFCヴィータ 代表取締役 並河 研)



【企業概要】

本社: 〒275-0024 千葉県習志野市茜浜3-6-3

TEL: 047-406-3355

【店舗概要】

VITA BASE(ヴィータベース)

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜2-2-1

ミスターマックス新習志野ショッピングセンター2F

TEL: 047-406-3355

【施設内容】

ジム、スタジオ、屋内人工芝フィールド(40m×8m)、カフェ

New Clubs

出店情報

9月のオープンクラブ

ルネサンス仙台宮町24

所在地: 宮城県仙台市青葉区宮町4-7-5

ルネサンス白井

所在地: 千葉県白井市堀込1-2-11

●FIA会員

あすウェル町田

所在地: 東京都町田市中町1-2-5

SHELL MIYAKO V 4-5F

●FIA会員

JOYFIT24新発田

所在地: 新潟県 新発田市舟入町3-6-28 コモタウン内

JOY FIT24川崎八丁囃

所在地: 神奈川県川崎市川崎区池田1-16-1

ホリディススポーツクラブ小牧

所在地: 愛知県小牧市東1-23

ホリディススポーツクラブ防府

所在地: 山口県防府市美和町1-47

ホットヨガスタジオLAVA東三国

所在地: 大阪府大阪市淀川区宮原2-14-27

新大阪クリエイティブビル2F

ホットヨガスタジオ BODY UP小阪

所在地: 大阪府東大阪市御厨栄町1-1-3

快活クラブFit24長野昭和通り

所在地: 長野県長野市問御所町1170-6

TOiGOパーキング1F

快活クラブFit24本庄東

所在地: 埼玉県本庄市寿3-4-22

スマートフィット100春日井味美

所在地: 愛知県春日井市味美西本町2319-4

マルエス堺原山台ジム

所在地: 大阪府堺市南区原山台2-5-1

ELK Fitness and Table

所在地: 静岡県静岡市葵区呉服町2-5-13 ルシルケビル1F

PURGE TOKYO

所在地: 東京都新宿区

エンタイムフィットネス泉バイパス市名坂

所在地: 宮城県仙台市泉区市名坂字檜町164 1F

エンタイムフィットネス酒田

所在地: 山形県酒田市日の出町1-1-13,1-14,1-15 1F

エンタイムフィットネス新橋

所在地: 東京都港区新橋4-9-1新橋プラザビル 2F

エンタイムフィットネス新井薬師

所在地: 東京都中野区新井5-17-12 新井薬師ビル 2F

エンタイムフィットネス浜松町汐留

所在地: 東京都港区海岸1-1-1 2F

エンタイムフィットネス横浜ポートサイド

所在地: 神奈川県横浜市神奈川区栄町8-4 B1F

エンタイムフィットネス横浜今宿

所在地: 神奈川県横浜市旭区今宿西町441-2 1F

エニタイムフィットネス茅ヶ崎東海岸北

所在地: 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北5-16-59 2F

エニタイムフィットネス本庄早稲田

所在地: 埼玉県本庄市早稲田の杜2-1-1 1F

エニタイムフィットネス鶴瀬

所在地: 埼玉県富士見市関沢1-1-18 1F

エニタイムフィットネス柏の葉

所在地: 千葉県柏市若柴378-26 中央177街区3 1-2F

エニタイムフィットネス茂原

所在地: 千葉県茂原市六ツ野2791-8 1-2F

エニタイムフィットネス高崎大八木

所在地: 群馬県高崎市大八木町2113-1 2F

エニタイムフィットネスヨークタウン結城

所在地: 茨城県結城市大字結城字根本原11839-1 1F

エニタイムフィットネス那珂

所在地: 茨城県那珂市竹ノ内2-19-6 2F

エニタイムフィットネス防府天神

所在地: 山口県防府市天神1-10-21 1F

エニタイムフィットネス小倉西港

所在地: 福岡県北九州市小倉北区西港町30-2

フェスティバルガーデン西港B棟 1F

高齢者向け健康情報発信 福岡県篠栗町と福岡工業大学

福岡工業大学と福岡県篠栗町は7日、地域の課題解決や人材育成で協力する包括連携協定を結んだ。大学の技術や知見を活用した実証実験などを同町で実施し、高齢化などの地域課題の解決に取り組む。三浦正町長は「官学連携でよりよい町づくりに取り組みたい」と話した。

(2020.8.7 日本経済)

在宅フィットネスやペット用品通販、ステイホーム銘柄躍進、昨年IPO企業の時価総額、成長市場、競争激しく

新型コロナウイルス禍で、世界の新興企業の評価が様変わりしている。注目銘柄が多かった2019年に新規株式公開(IPO)した企業の時価総額をコロナ前後で比較したところ、在宅での仕事や娯楽を支援する「ステイホーム」銘柄が躍進した。顧客の外出を伴う事業モデルは苦戦が目立ち、一部企業は戦略の見直しを迫られている。在宅フィットネスの米ペロトン・インタラクティブは時価総額が2.1倍になっている。

(2020.8.18 日本経済)

Issue

記事

在宅やフィットネス、コロナ対応の家提案 積水ハウス

積水ハウスは4日、新型コロナウイルスを受けた生活スタイルの変化に対応した戸建て住宅の新商品「ファミリースイートおうちプレミアム」を発売したと発表した。柱や壁のない大空間のリビングをつくる設計技術を生かし、在宅勤務やフィットネス、家飲みを楽しめる空間を提案する。住まいへの関心の高まりに応える。1980年代以降に生まれたミレニアル世代向けに、鉄骨や木造の戸建て住宅の全商品で展開する。高強度のはりなどを使い、耐震性を備えながら、1階で最大7メートル、2階では同10メートルの柱や壁のない大空間を可能にした。防音性能を高めたオンライン会議用の部屋を設けることなどを提案する。

(2020.8.4 日本経済)

アステラス製薬、科学的根拠に基づいたフィットネスサービス「Fit-eNce」の予約受付を開始

アステラス製薬株式会社は、科学的根拠のある運動プログラムを継続的に実施して頂くための運動支援サービス Fit-eNce(R)の予約受付を本日開始した。9月1日から神奈川県内のフィットネスクラブを通じて地域限定でサービスを提供する予定。様々な疾患の治療には、運動療法が有用であるとされているが、医師が運動療法の具体的な指導内容に踏み込んだりするのは難しい。一方、患者にとっては適切な運動メニューがわからず、運動意欲を維持するのが困難だ。Fit-eNce(R)はこれらの課題を解消すべく、患者が医師による指導のもと、科学的根拠のある運動プログラムを継続的に実施できるよう構築された、新たな運動支援サービス。

(2020.8.24 日本経済)

東急スポーツオアシス「ジム」生中継にチャット機能

東急スポーツオアシスは自宅などから参加できるスタジオレッスンのライブ配信に、新たにチャット機能を追加した。講師と生徒間の双方向のコミュニケーションを可能にする。新型コロナウイルスの感染拡大でライブ配信の需要が高まるとみて、新たな事業の柱として成長させる狙いだ。

スタジオでのレッスンをライブ配信するアプリ「WEBGYM LIVE(ウェブジム ライブ)」でチャットを使えるようにした。エクササイズバイクや姿勢改善などのレッスンを想定する。感情を表す絵文字や「キツイけど楽しい」などの定型文をタッチして送信できる「ワンタップ」機能を用意したほか、好きな文章を入力できるようにした。音声入力機能も使える。アプリの利用料金は月額1,950円。同社では2019年1月からライブ配信を始めたものの、講師と生徒のコミュニケーションが難しく、レッスンのペースが速すぎるなど生徒の意見を反映するのが難しかったという。チャット機能の追加で、講師は生徒の反応を見ながらレッスンを進めることができる。

(2020.8.5 日本経済)

東電EP、電動バスを非常用電源に 千葉市で実証試験

東京電力エナジーパートナー(EP)は31日、千葉市のスポーツ施設で電動バスを非常用電源として活用する実証試験を、9月から始めると発表した。停電時に電動バスのバッテリーにためた電力を施設に供給し、併設する蓄電池と合わせ約8時間分の電力需要をまかなう。大規模災害が相次ぐ中、東電は充放電のコストなどを見極めたうえで今後の事業化を目指す。

実証はスポーツクラブ大手のルネサンスが運営する「スポーツクラブ&スパ ルネサンス 稲毛24」(千葉市)で実施する。ルネサンスが顧客の送迎に使う電動バスや施設の蓄電池、太陽光パネルなどを東電EPが管理。災害などで停電した際、これらの電力設備を使い施設に電力を送る。電動バスを災害用の電源として活用する取り組みは珍しい。

平常時は、施設の電力需要が増える夕方に蓄電池から電力を供給することで、施設の電気代を削減する。

東電EPは、電動車を活用した電力運用の需要が高まると見込んでいる。実証を通じ採算性などを見極めていく。

(2020.8.31 日本経済)